

2019年12月2日、アドルノ・ジュリアーノ氏の特別レッスンを開講いたしました。イタリア・トスカーナ州のオルベルテッロにおいてオルベルテッロ国際ピアノコンクールを主宰されており、欧州内の多くの中堅国際コンクールにて審査員を務められている氏は、登竜門を目指す欧州各国の若者と接する機会が非常に多く、レッスンにおいても「現場感」というべき即戦的なアドバイスを光っていました。



今回は大学院生2名、学部生3名の計5名がレッスンを受講しました。SNSが音楽ビジネスにおいても計り知れない影響を与えたことは言うには及びませんが、伝統的なものを含んだ上で、今どのような音楽の在り方が求められているのか、その音楽の方向性をはっきりと示すレッスンでした。明確なデュナーミックの変化、テンポの設定、フレージングの作り方といった基本的なものに始まり、大きなストーリーとして捉えるドラマティックな音楽づくりは、学生にとって必須のものでした。

通訳は今回のジュリアーノ氏来日ツアーをマネジメントされた平野裕樹子先生にご担当いただきました。

